

SAWAI QUALITY



SAWAI QUALITY

for Patients

なによりも患者さんのために、
沢井製薬だからお届けできる高い品質。
それが、「SAWAI QUALITY」。

ジェネリック医薬品の製造をはじめて、半世紀以上。

「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、

沢井製薬は、つねに患者さんのことを第一に考えながら、

質の高い製品を提供することに挑み続け、

今もその理念のもと、さまざまな分野に取り組んでいます。

安定供給や製剤技術、情報提供など。

製品そのものはもちろん、製品をつくり、届ける“人”、

製品を生み出す“環境”、的確で豊富な“情報”も私たちの品質であり、

それらすべてを「SAWAI QUALITY」と考えています。

高品質なジェネリック医薬品を患者さんにお届けし、

その普及を通して社会の発展に貢献するために。

これからも沢井製薬は、質の高さにこだわり続けていきます。

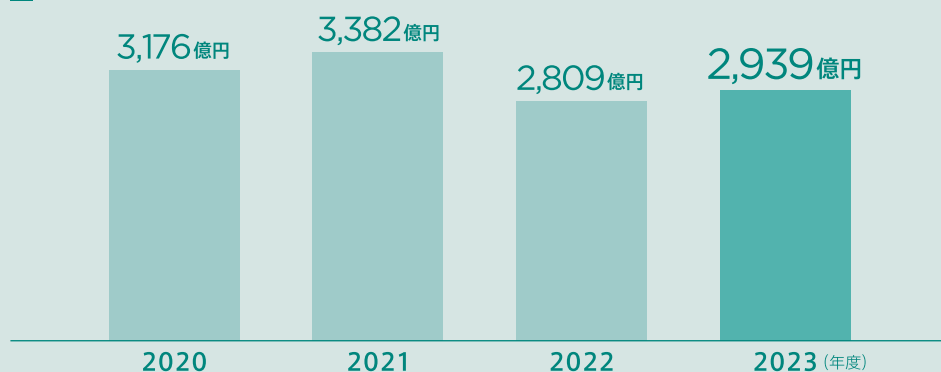


当社の社会貢献に対する Quality Pride

—— 事業活動を通じた医療アクセス向上・医療財政健全化への貢献 ——

先発医薬品と比べ、低価格のジェネリック医薬品の製造・販売を通じ、患者さんの経済的な負担や医療費負担の低減に貢献することが、当社の取り組むべき一番重要な社会的責任であると位置づけ、事業活動の継続・発展に注力してまいります。

■ 医療費節減額 ※当社計測値





業界トップクラスの生産体制で、
高品質なジェネリック医薬品の
供給に取り組んでいます。

SAWAI QUALITY

#1 供給体制

全国6工場の供給体制。

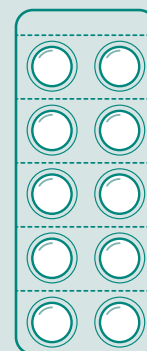
最新鋭の設備を誇る全6拠点の工場で、錠剤、OD錠（口腔内崩壊錠）、注射剤など、多品種の高品質なジェネリック医薬品を供給しています。患者さんが必要な時に必要な量のお薬を確実にお届けできるよう、つねに万全の体制を整備すること。そのために沢井製薬は、あらゆる努力を惜しみません。



約800品目のラインナップに対応した生産体制。

高血圧症、糖尿病、脂質異常症(高脂血症)などの生活習慣病やアレルギー疾患のお薬、抗生物質、抗がん剤と、あらゆる病気にジェネリック医薬品は存在します。また、錠剤、OD錠(口腔内崩壊錠)、カプセル剤、注射剤、点眼剤、貼付剤など、形状もさまざま。時代のニーズや患者さんそれぞれの症状に対応できるよう、沢井製薬では約800品目の製品をご用意しています。これだけ多くの製品を生産して供給できるのは、多種多様な原薬を用いて研究し、それらを組み合わせる技術力があるからこそ、沢井製薬は自負しています。

約800品目



すべての工場の各工程において、厳しい品質基準を設け徹底的に品質管理。

原料や包装資材の受け入れ、中間製品や出荷前の最終製品の検査など、工場の各工程において、国が定めた厳しい基準に基づいて品質を管理。これらの記録を、品質保証責任者が確認した上で、製品の出荷を決定しています。また、工場内では常にクリーンな環境を維持できるよう衛生管理にも注力。安心、安全な環境のもと、安定的な製品の供給に取り組んでいます。



全国6工場・業界トップクラスの生産体制。

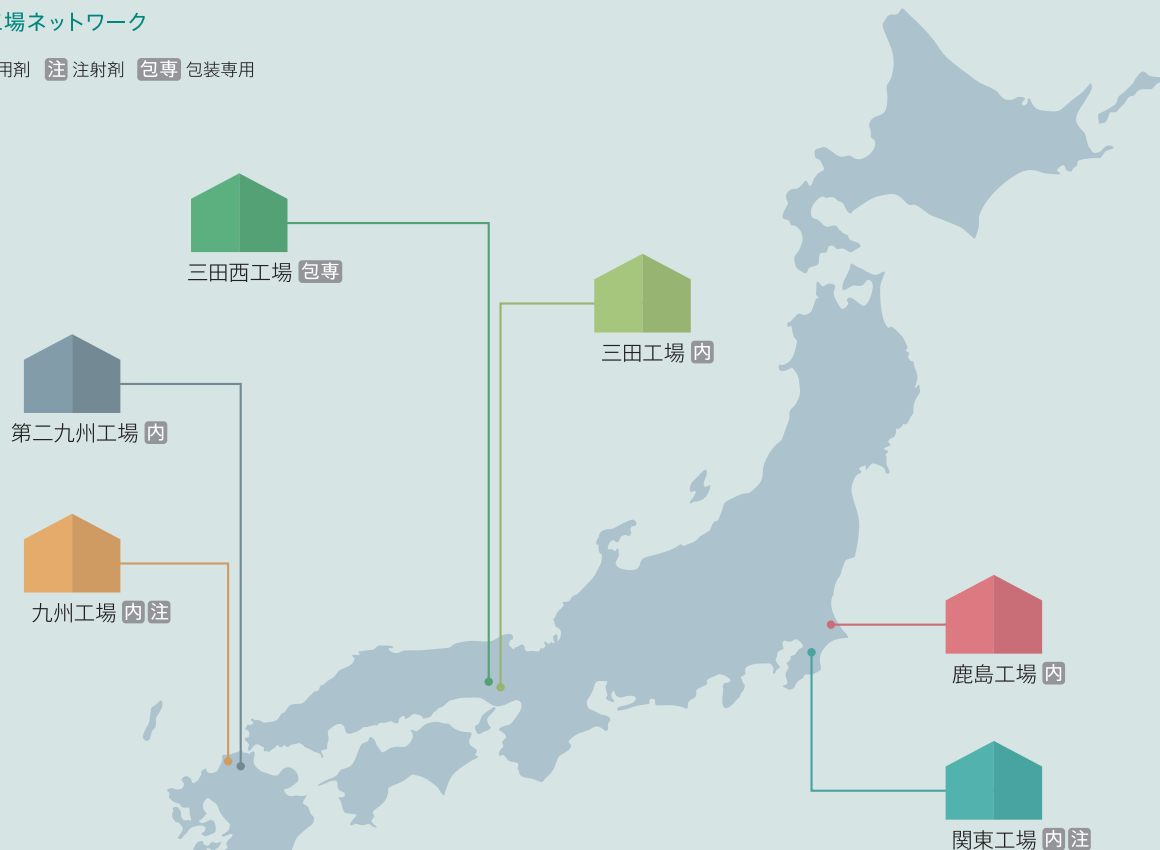
ジェネリック医薬品の需要拡大に応えるため、沢井製薬では長年にわたり生産体制を強化してきました。

2013年に関東工場製剤工場が完成、2015年に鹿島工場を譲受、2016年には包装工程に特化した三田西工場が完成し2017年から製品出荷を開始。生産拠点を6か所に分散することで、地震や台風などの天災によるダメージを回避することにも配慮しています。最新鋭の設備を誇る業界トップクラスの生産体制をフル稼働させ、高品質な製品の供給に努めています。

また、第二九州工場での新固形剤棟の竣工などにより、2026年度には約220億錠の生産体制の確立を目指しています。

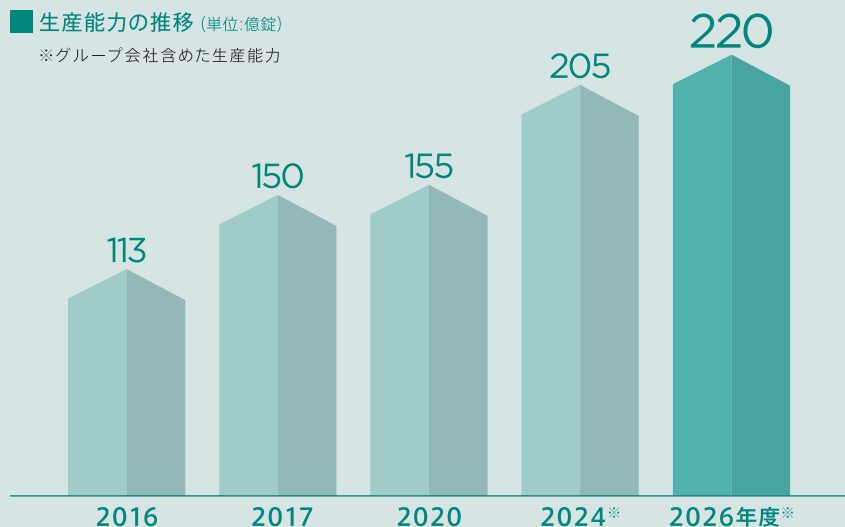
工場ネットワーク

内 内用剤 注 注射剤 包専 包装専用



生産能力の推移 (単位:億錠)

※グループ会社含めた生産能力



「患者さんにとって、
飲みやすいお薬とは何か」を、
つねに考えて設計しています。



SAWAI QUALITY

#2 製剤技術

「原薬選びからこだわり抜き、患者さんのために飲みやすさを、医療関係者の方々のために扱いやすさを追求すること」という考えに基づいて製剤設計。

沢井製薬では、ジェネリック医薬品の原料となる原薬選びから、ひとつ上の品質にこだわっています。

独自に高い基準を設けて徹底的に分析し、選定。その高品質の原薬をもとに、ジェネリック医薬品だからこそできるさまざまな工夫を施して製剤化しています。大きい錠剤を小さくしたり、苦味を抑えたり、水なしでも飲める錠剤にしたり。患者さんへの飲みやすさに配慮しているのはもちろん、医療関係者の方々には調剤しやすい工夫をしています。

お薬を手にとっていただける方を第一に考えた製剤設計。それも、私たちの品質です。



医薬品の原料となる原薬選びに関して、国が定めるより厳しい自主基準を設定。

沢井製薬では、国が定めるよりも厳しい自主基準に適合した原薬を使用しています。

まず、研究開発部門が原薬の品質を厳しく評価し、原薬メーカーを選定。その後、品質保証部門を中心に原薬メーカーの工場を監査し、適切な環境で製造されているか、適切な分析のもと品質管理されているかなどを確認することにより、原薬メーカーの品質管理体制が、沢井製薬の基準に適合していることをチェックしています。このように、研究開発部門、品質保証部門、そして生産部門などさまざまな部署が連携し、一丸となって高品質の製品をつくり上げています。

さらに、原薬メーカーと連携を図りながら、供給能力を継続的にモニタリングしたり、複数の原薬メーカーから購入することで、原薬の安定的な調達に努めています。



■ ジェネリック医薬品ができるまで

特許調査



製剤化検討
(原薬選定、分析法開発、処方設計)



原薬メーカー承認前監査



申請データ取得



申請／照会対応／適合性調査



原薬メーカー監査



製造販売承認



薬価収載

さまざまな特許を回避し、製剤化に成功した一例

口腔内崩壊錠でありながら徐放性と強度も持ち合わせた錠剤の発売

ジェネリック医薬品は物質特許を含め、製法などの特許を回避しながら先発医薬品と同等の溶出性や体内動態などを示す必要があります。中には口の中で速やかに崩壊させながらも(口腔内崩壊錠)、体内では徐々に有効成分を放出させなければならない製剤(徐放性製剤)もありました。関連する特許も多数ある中で、さまざまな検討を積み重ねた結果、先発医薬品と同じ特徴を持ち、かつ錠剤強度を高めた製品を他社にさががけて発売することができました。(特許取得)

ジェネリックだからこそできる製剤工夫。形状や苦味の改善など多様なニーズに対応。

ジェネリック医薬品は、新薬の特許が切れた後に発売されます。お薬をつくる技術は日々進化しており、その最新の技術を取り入れて開発できるのが、ジェネリック医薬品ならではの強み。

沢井製薬では、たくさんの患者さんや医療関係者の方々の声を活かし、さまざまな工夫も加えています。その他、製剤技術力を活かして、製剤に関連した特許の取得や新規技術の開発も行っています。

患者さんのための工夫

- 大きい錠剤を小さくして、飲みやすくする。



- コーティングなどを施して、苦味を少なくする。



- 錠剤に製品名を印字して、飲み間違いを防ぐ。



- 飲み込みにくい錠剤を、水なしでも飲めるOD錠(口腔内崩壊錠)にする。



- 従来品より服用しやすくする。

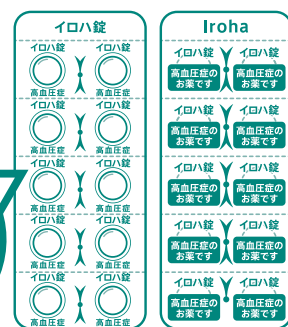
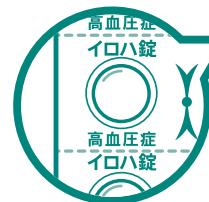


医療関係者のための工夫

- 製品名を大きく表示して、取り違いを防ぐ。



- 調剤のときの取り違いを防ぐために、お薬の製品名や薬効を表示。



製品の薬効をイメージしたデザイン
(意匠登録)

- さまざまな種類の薬を1回分ずつまとめて包装し直す際、どの薬かひと目でわかるよう錠剤に有効成分名を表示する。

- 注射薬を注射筒に入れて、キット化する。

- PTPシートから取り出しやすくする。

検討を重ね生み出された付加価値製品の一例

水なしでも飲める睡眠導入剤(OD錠)の開発

睡眠導入剤を就寝直前に服用する際、水分を摂取すると、患者さんは尿意を感じて睡眠の妨げになることがあります。また、夜間トイレに立った時、転倒の危険などがあることも。少しでも患者さんの不安を取り除きたいという思いから、水なしでも飲めるOD錠を開発しました。(特許取得)

A full-page photograph of a man with dark hair, smiling and looking upwards and to the right. He is wearing a dark pinstriped suit jacket over a white shirt and a dark tie with a small, repeating geometric pattern. His hands are clasped in front of him. The background is a blurred indoor setting with a light-colored ceiling.

製品に関する情報を、
医療関係者や患者さんへ
タイムリーにお伝えしています。

#3 情報提供

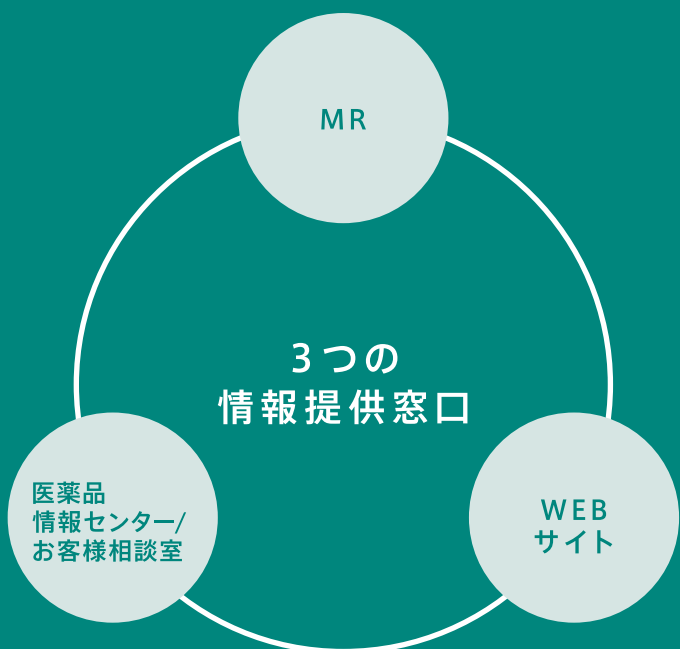
安心してご利用いただくために、
的確な情報を迅速にお届けすることも、
私たちの品質のひとつ。

3つのサポート体制を通して、
あらゆる情報を提供していく。

沢井製薬には、MR、お問い合わせ窓口である医薬品情報センター、
WEBサイトという3つの情報提供窓口があります。

医療関係者および患者さんに適正な利用を促すため、それぞれの窓口が
機能し、情報を共有し合うことで、強力なサポート体制を構築。医療関係者の
方々には、MRからの情報の他に、医薬品情報センターやWEBサイトで
必要な情報を手に入れていただくことが可能です。

患者さんには、WEBサイトやお客様相談室から製品や私たちの取組み
に関する情報を入手していただけます。充実した体制で、医療関係者や
患者さんの声におこたえしています。



MRが、 医療関係者の方々に情報提供活動を展開。

「製品に関する情報も品質のひとつである」と考え、当社のMRは情報提供活動を行っています。

また、医薬品の副作用や安全性に関する情報を収集し、安全管理部門を中心に集約。それを医療現場へフィードバックすることで、適正に使用していただくよう取り組んでいます。

発売後は、製品をご使用いただいた医療関係者の方々や患者さんの声を積極的に集め、さらに高品質な製品をお届けできるよう改良に活かしています。



豊富な製品情報や企業の取組みなどを、 WEBサイトを通して患者さんや医療関係者へ配信。

沢井製薬は、複数のWEBサイトで情報を提供しています。医療関係者向け総合情報サイト「sawai medical site」では、製品に関する最新情報、診療や服薬指導にご活用いただける情報を掲載。がん情報コンテンツ「サワイオンコロジー」では、がん治療に携わる医療関係者をサポートするための情報を掲載しています。企業情報サイトの沢井製薬コーポレートサイトでは、患者さん向けにジェネリックについて説明したり、ジェネリック医薬品があるか検索できるコンテンツもご用意。健康情報サイト「サワイ健康推進課」、「頭痛オンライン」および「大人の神経発達症.jp」では、疾病についてや健康に役立つ情報を掲載しています。



医療関係者向け総合情報サイト
「sawai medical site」
<https://med.sawai.co.jp/>



沢井製薬コーポレートサイト
<https://www.sawai.co.jp/>



サワイ健康推進課
<https://kenko.sawai.co.jp/>



頭痛オンライン
<https://zutsu-online.jp/>



大人の神経発達症.jp
<https://大人の神経発達症.jp>

医療関係者向けの医薬品情報センターを設置。
24時間365日、いつでもつながる安心感を提供。



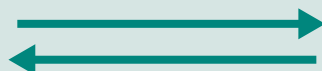
夜間・休日にも医療現場からのお問い合わせに即座に対応するため、医薬品情報センターを設置し、24時間365日、的確で迅速な情報はもちろん、いつでもつながる安心感を提供しています。医薬品情報センターでは、製品の特徴や使用方法、安全性についてなど、毎月数千件のお問い合わせをいただいています。

また、患者さんからのお問い合わせに対応するため、お客様相談室も設置しています。製品に関するご意見やご要望は、社内で共有し、さらに高品質な製品をお届けできるよう活かしています。

24時間 365日



医療現場



医薬品情報センター

「なによりも患者さんのために」

沢井製薬のすべての活動はこの理念に基づいています。

一人でも多くの患者さんに信頼できる
ジェネリック医薬品をお届けしたい。

沢井製薬は、真心をこめた高品質なジェネリック医薬品を通じて、
社会に貢献していきたいと考えています。

私たちの活動の根底にあるもの。

それは、「なによりも患者さんのために」という企業理念です。

お薬の効き目を実感されるのは、最終的には患者さんです。

だからこそ、薬価が安いだけでなく、

安心してご使用いただけるジェネリック医薬品を、

一人でも多くの患者さんにお届けしていくこと。

その積み重ねが、人と社会と医療の発展につながるものと信じて、

ジェネリック医薬品の品質を追求し続けています。

代表取締役社長

木村 元彦



1 「真心をこめた医薬品を通じ、人々の健やかな暮らしを実現する」 それが **sawai** の使命です。

患者さんに喜ばれ、安心してご使用いただき、医療関係者に信頼される医薬品を提供し続けること。それこそが、沢井製薬の使命と考えます。お薬代の安価なジェネリック医薬品は、患者さん、保険組合、国や地方の医療費節減にもつながります。だからこそ私たちは、高品質なジェネリック医薬品を真心をこめてお届けすることで、人々の健やかな暮らしを実現し、社会に貢献できるものと信じています。

2 「創造性を追求し、革新と協調により社会と共に成長する」 それが **sawai** の挑戦です。

めまぐるしく変化する日本の医療においては、革新なくして企業の発展はありません。研究開発、生産、営業、経営などすべての分野で、社員一人ひとりが創造性を発揮し、積極的に挑戦すること。それを実現してこそ、企業価値を高められるものと、沢井製薬は考えます。また、人との出会いや協調性を大切に、社会との調和を図ることが、企業の成長に不可欠なものであると確信しています。

3 「お役に立ちたいという心を持ち、なくてはならない存在になる」 それが **sawai** の願いです。

製薬会社として、患者さんや医療関係者の「お役に立ちたい」という姿勢を、取引先やパートナー、地域社会、社員、友人、家族に対しても貫くこと。そのような社員が働く企業が、社会から真の信頼を得られるものと考えます。その努力を積み重ねて、社員一人ひとりそして沢井製薬そのものが、医療現場や社会、多くの人々にとって、かけがえのない存在になること。それこそが私たちの願いです。

会 社 概 要

社 名	沢井製薬株式会社
創 業	1929年4月1日
設 立	1948年7月1日
資 本 金	412億円（2024年3月31日現在）
従 業 員 数	2,634名（2024年3月31日現在）
事 業 内 容	医薬品の製造販売および輸出入、健康食品の製造販売
販 売 品 目	生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病等）治療剤、 抗がん剤など医療用医薬品約800品目

事 業 所

本社・研究所

本社・研究所	〒532-0003 大阪市淀川区宮原5丁目2-30	Tel. 06-6105-5711	Fax. 06-6394-7311
--------	---------------------------	-------------------	-------------------

支店

札幌支店	〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目8-2	Tel. 011-209-8071	Fax. 011-231-8070
仙台支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目2-3	Tel. 022-295-5355	Fax. 022-295-5359
北関東支店	〒370-0831 群馬県高崎市あら町206	Tel. 027-310-5536	Fax. 027-310-5537
東京第一支店	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2丁目1-1	Tel. 03-6273-4665	Fax. 03-6281-9445
東京第二支店	〒330-0081 さいたま市中央区新都心4-1	Tel. 048-600-6110	Fax. 048-600-6113
名古屋支店	〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目11-31	Tel. 052-249-5370	Fax. 052-249-5377
大阪支店	〒535-0005 大阪市旭区赤川2丁目7-4	Tel. 06-6921-9675	Fax. 06-6921-9710
広島支店	〒730-0801 広島市中区寺町5-20	Tel. 082-234-0605	Fax. 082-234-0559
福岡支店	〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目1-33	Tel. 092-409-0122	Fax. 092-643-6080

営業所

東京西営業所	〒190-0022 東京都立川市錦町3丁目1-2	Tel. 042-548-0930	Fax. 042-548-0931
横浜営業所	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2丁目8-12	Tel. 045-476-1551	Fax. 045-475-1048
厚木営業所	〒243-0018 神奈川県厚木市中町2丁目7-6	Tel. 046-297-0227	Fax. 046-225-5416
千葉営業所	〒261-8501 千葉市美浜区中瀬1-3	Tel. 043-298-3821	Fax. 043-276-8610
静岡営業所	〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-30	Tel. 054-251-3331	Fax. 054-251-3332
京都営業所	〒601-8414 京都市南区西九条蔵王町30-1	Tel. 075-694-1152	Fax. 075-661-0433
神戸営業所	〒650-0015 神戸市中央区多聞通2丁目4-4	Tel. 078-362-6761	Fax. 078-362-6763
高松営業所	〒760-0077 香川県高松市上福岡町2009-2	Tel. 087-863-0610	Fax. 087-863-0612
岡山営業所	〒700-0971 岡山市北区野田3丁目13-39	Tel. 086-245-7315	Fax. 086-245-7150
熊本営業所	〒861-8034 熊本市東区八反田3丁目1-12	Tel. 096-388-7767	Fax. 096-388-7768

工場・研究所

開発センター	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町12-34	Tel. 06-6190-0520	Fax. 06-6337-0330
鹿島工場	〒314-0255 茨城県神栖市砂山14-6	Tel. 0479-46-7272	Fax. 0479-46-4630
関東工場	〒297-0017 千葉県茂原市東郷1900-1	Tel. 0475-23-3261	Fax. 0475-23-4981
三田工場	〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク2-1	Tel. 079-568-4927	Fax. 079-568-4938
三田西工場	〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク18-8	Tel. 079-558-7200	Fax. 079-558-7206
九州工場	〒820-0021 福岡県飯塚市潤野1238-1	Tel. 0948-24-7117	Fax. 0948-24-7115
第二九州工場	〒820-0073 福岡県飯塚市平恒1144-3	Tel. 0948-24-1400	Fax. 0948-24-1410

※掲載情報は特に断りのない限り、2024年7月時点の情報です。

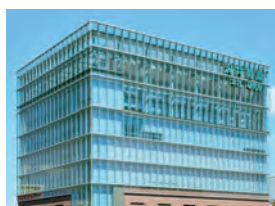
ネットワーク



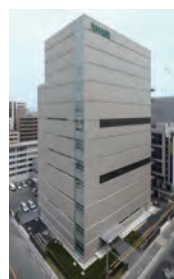
三田工場



三田西工場



本社・研究所



開発センター



九州工場



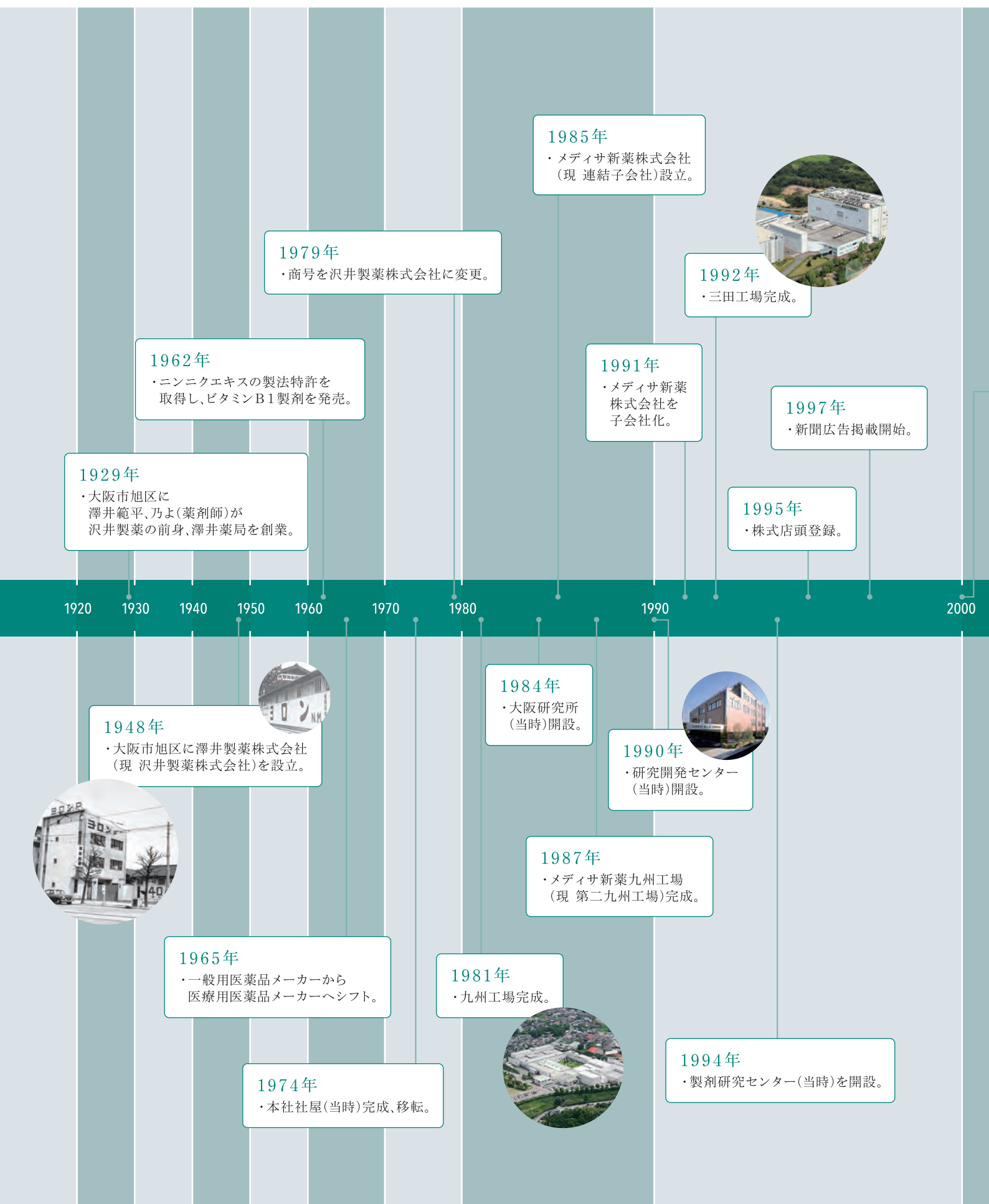
第二九州工場



鹿島工場



関東工場





2006年

- ・本社・研究所を集約し、新社屋を完成。現所在地(大阪市淀川区)に移転。
- ・化研生薬株式会社の株式の過半数を取得し子会社化。

2024年

- ・Upsher-Smith Laboratories, LLCを売却。

2014年

- ・抗血小板薬『シロスタゾールOD錠「サワイ」』が、社団法人日本薬剤学会「旭化成創剤開発技術賞」を受賞。

2023年

- ・木村元彦代表取締役社長に就任。

2000年

- ・九州工場注射剤製造設備増設。
- ・東京証券取引所市場第二部上場。

2012年

- ・会社分割によりメディサ新薬株式会社の生産事業を吸収し、メディサ新薬九州工場を沢井製薬第二九州工場として新設。

2020年

- ・澤井光郎代表取締役会長、澤井健造代表取締役社長に就任。

2004年

- ・全国にてテレビCM放映開始。

2008年

- ・澤井弘行代表取締役会長、澤井光郎代表取締役社長に就任。

2016年

- ・三田西工場完成。

2010

2020

2003年

- ・東京証券取引所市場第一部上場。



2013年

- ・関東工場製剤工場完成。
- ・執行役員制度を導入。



2021年

- ・4月、サワイグループホールディングスの子会社に。



2005年

- ・日本シエーリング株式会社(現 パイエル薬品株式会社)茂原工場(現 関東工場)譲受。

2009年

- ・製剤研究センター(後 製剤技術センターに改称)を開設。



2007年

- ・関東工場シリンジ棟新設。
- ・企業理念および行動基準を制定。

2015年

- ・田辺三菱製薬工場株式会社鹿島工場(現 鹿島工場)譲受。
- ・開発センター完成。製剤技術センター(当時)の機能を開発センターへ集約。



なによりも患者さんのために





沢井製薬株式会社

Sawai Pharmaceutical Co., Ltd.